

## 2017年6月期 決算短信 (REIT)

2017年8月17日

不動産投資信託証券発行者名	日本リート投資法人	上場取引所	東
コード番号	3296	URL	<a href="http://www.nippon-reit.com/">http://www.nippon-reit.com/</a>
代表者	(役職名) 執行役員	(氏名)	石川 久夫
資産運用会社名	双日リートアドバイザーズ株式会社		
代表者	(役職名) 代表取締役社長	(氏名)	杉田 俊夫
問合せ先責任者	(役職名) 財務企画本部業務企画部長	(氏名)	石井 崇弘
	(TEL) (03)5501-0080(代表)		

有価証券報告書提出予定日 2017年9月26日 分配金支払開始予定日 2017年9月15日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2017年6月期の運用、資産の状況 (2017年1月1日~2017年6月30日)

#### (1) 運用状況

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2017年 6月期	6,947	1.6	3,696	4.8	3,218	5.3	3,218	5.4
2016年12月期	6,836	3.5	3,527	7.3	3,055	3.8	3,054	3.8

	1口当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	営業収益 経常利益率
	円	%	%	%
2017年 6月期	8,215	2.9	1.4	46.3
2016年12月期	7,797	2.7	1.4	44.7

#### (2) 分配状況

	1口当たり分配金 (利益超過分配金 は含まない)	分配金総額 (利益超過分配金 は含まない)	1口当たり 利益超過分配金	利益超過分配金 総額	配当性向	純資産配当率
	円	百万円	円	百万円	%	%
2017年 6月期	8,217	3,219	0	0	100.0	2.9
2016年12月期	7,800	3,055	0	0	100.0	2.7

#### (3) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1口当たり純資産
	百万円	百万円	%	円
2017年 6月期	226,434	112,540	49.7	287,268
2016年12月期	226,398	112,389	49.6	286,883

#### (4) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2017年 6月期	3,873	△558	△3,048	16,740
2016年12月期	3,826	△59	△2,935	16,474

2. 2017年12月期の運用状況の予想（2017年7月1日～2017年12月31日）及び2018年6月期の運用状況の予想（2018年1月1日～2018年6月30日）

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1口当たり分配金 (利益超過分配金は含まない)	1口当たり 利益超過分配金
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	円
2017年12月期	7,101	2.2	3,729	0.9	3,222	0.1	3,221	0.1	8,224	—
2018年6月期	6,976	△1.8	3,684	△1.2	3,174	△1.5	3,173	△1.5	8,100	—

(参考) 1口当たり予想当期純利益 (予想当期純利益÷予想期末投資口数)  
 (2017年12月期) 8,224円 (2018年6月期) 8,100円

※ その他

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済投資口の総口数

- ① 期末発行済投資口の総口数（自己投資口を含む）
- ② 期末自己投資口数

2017年6月期	391,760口	2016年12月期	391,760口
2017年6月期	0口	2016年12月期	0口

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 運用状況の予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている運用状況の見通し等の将来に関する記述は、日本リート投資法人が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の運用状況等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。また、本予想は分配金の額を保証するものではありません。運用状況の予想の前提条件については、7ページ「2017年12月期（2017年7月1日～2017年12月31日）及び2018年6月期（2018年1月1日～2018年6月30日）の運用状況の見通しの前提条件」をご覧ください。

以上

## 1. 投資法人の関係法人

### 投資法人の仕組み

日本リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）及び本投資法人の関係法人の名称並びに運営上の役割及び関係業務の概要（その他の本投資法人の主な関係者を含みます。）は、最新の有価証券報告書（2017年3月24日提出）における「投資法人の仕組み」から重要な変更がないため開示を省略しています。

## 2. 運用方針及び運用状況

### (1) 運用方針

最新の有価証券報告書（2017年3月24日提出）における「投資方針」、「投資対象」、「分配方針」から重要な変更がないため開示を省略しています。

### (2) 運用状況

#### ① 当期の概況

##### A 投資法人の主な推移

本投資法人は、投資信託及び投資法人に関する法律（以下「投信法」といいます。）に基づき、ボラリス・インベストメント・アドバイザーズ株式会社（現 双日リートアドバイザーズ株式会社（以下「本資産運用会社」といいます。））を設立企画人として、2010年9月8日に設立され、2010年10月26日関東財務局への登録が完了されました（登録番号関東財務局長第72号）。

本投資法人は、2014年4月23日に公募による新投資口の発行（144,200口）を行い、翌24日付で株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）不動産投資信託証券市場に上場しました（銘柄コード3296）。

その後、本投資法人は、2015年2月に第1回公募増資、2015年3月に第三者割当増資、2015年7月に第2回公募増資及び第三者割当増資を実施しており、当期末（2017年6月30日）現在での発行済投資口の総口数は391,760口となっています。

##### B 投資環境と運用実績

###### (イ) 投資環境

当期（2017年6月期）の我が国の経済は、2017年第1四半期（1月～3月）の実質GDP成長率（2次速報値）が実質0.3%（年率1.0%）となり、景気は緩やかな回復基調が続いています。設備投資や輸出、生産は持ち直し、個人消費も穏やかに持ち直しています。また、消費者物価はこのところ横ばいですが、企業収益、企業の業況判断、雇用情勢は改善しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果もあって緩やかに回復していくことが期待されます。ただし、海外経済の不確実性の高まりや金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。

オフィスの賃貸市場については、三鬼商事株式会社が公表した都心5区（千代田区、中央区、港区、新宿区及び渋谷区）の2017年6月末現在の空室率は3.26%であり、前年同月比0.81%低下しています。また、同地区の2017年6月末現在の坪当たりの平均賃料は18,864円と前年同月比3.77%の上昇となり、小幅な上昇傾向が続いています。

住宅の賃貸市場については、稼働率・賃料水準ともおおむね安定した状況が継続しており、三大都市圏において人口が集中する傾向が継続することが見込まれています。

商業施設の賃貸市場については、経済産業省公表の2017年5月の小売業販売額が前年同月比2.1%の増加と燃料小売業や自動車小売業、医薬品・化粧品、織物・衣服・身の回り品小売業を中心に増加傾向がみられます。百貨店・スーパー（既存店）販売額は前年同月比0.6%の減少となりました。先行きについては、雇用・所得環境が改善するなかで、持ち直しに向かうことが期待されます。

また、不動産売買市場については、天王洲地区、東品川地区等の東京湾岸部及びみなとみらい地区の売り物件が増えており、従来は賃貸市場における位置付けの低さから投資物件としてのリスクが高いと看做されがちな地区でしたが、投資効率の高い大型の売り物件が少ないなかで、従来とは異なる利回り水準での取引が成立しています。なお、オフィスビルの新規供給の増加やマクロ経済の成長鈍化により都心部のオフィス賃料の上限値が近づいてきているとする見方から、取引利回りの水準にも限界感が出てきていると考えている投資家が

多くなってきています。しかしながら、当面は市況を反転させる明確な懸念材料がなく、かつ、良好な資金調達環境が続いていることから、都心の優良な物件については引き続き低利回りの取引となる可能性が高いと思料されます。

(ロ) 運用実績

a. 外部成長

本投資法人は前期末(2016年12月31日)時点で保有していた、合計65物件の運用資産(取得価格合計204,852百万円)及び匿名組合出資持分(出資額合計820百万円、出資先運用資産数合計10物件)に加え、当期(2017年6月期)においては、外部成長のためのパイプラインとして以下の匿名組合出資持分を取得し、その出資先運用資産合計5物件について優先交渉権を取得しました。

銘柄名	出資先運用資産数	出資額(百万円) (注)	取得日
合同会社ニコラスキャピタル10 劣後匿名組合出資持分	5	28	2017年3月29日
		22	2017年4月10日

(注)「出資額」には、取得に要した諸費用を含んでいません。

その結果、当期末現在のポートフォリオは、オフィス55物件(取得価格合計179,666百万円)、住宅8物件(取得価格合計19,773百万円)、商業施設2物件(取得価格合計5,413百万円)の合計65物件(取得価格合計204,852百万円。なお、匿名組合出資持分は含みません。)及び匿名組合出資持分4件(出資額合計870百万円、出資先運用資産数合計15物件)となっており、本投資法人が直接保有する合計65物件の総賃貸面積は254,809.89㎡、稼働率は99.8%となっています。

b. 内部成長

本投資法人は、ポートフォリオの資産価値を維持・向上する運営管理を重視し、新規及び既存テナントに対する積極的な営業活動を展開するとともに、既存テナントとのリレーション強化によりテナントニーズや物件毎の特性を踏まえた物件競争力の向上に繋がる施策を実施しました。こうした取組みにより、当期末現在のポートフォリオの稼働率は99.8%と高水準を維持しています。

C 資金の調達

(イ) 借入れ及び返済

2017年4月24日付で返済期限の到来した借入金11,600百万円のリファイナンスにあたり、同日付で11,600百万円の借入れを行いました。

その結果、2017年6月30日現在の借入金残高は103,570百万円となり、総資産に占める有利子負債の割合(LTV)は45.7%となりました。

(ロ) 格付

2017年6月30日現在の本投資法人の格付けの取得状況は以下のとおりです。

信用格付業者	格付内容	格付の方向性
株式会社日本格付研究所	長期発行体格付：A	安定的

D 業績及び分配

上記の運用の結果、当期の業績は、営業収益6,947百万円、営業利益3,696百万円、経常利益3,218百万円、当期純利益3,218百万円となりました。

分配金については、投資法人に係る課税の特例規定(租税特別措置法第67条の15)が適用されるように、また、当期末処分利益を超えず、かつ法人税等の発生による投資主負担を最小限に抑えられる範囲で、発行済投資口の総口数391,760口の整数倍となる3,219,091,920円を利益分配金として分配することとし、投資口1口当たりの分配金を8,217円としました。

## ② 次期の見通し

今後の運用方針及び対処すべき課題

## A 基本方針

本投資法人は、「投資主との利害一致の徹底的な追求」を基本方針として、総合型リートの特性を活かして、収益の成長性及び安定性を重視し、機動的かつタイムリーな投資と投資主との利害一致を通じて、投資主価値の最大化を図るため、以下の施策に取り組む方針です。

## B 外部成長戦略

本投資法人は、今後の日本経済及び不動産市況の動向を勘案し、より多くの適切な投資機会を確保しつつ、異なる収益特性を有する資産の組み合わせによるリスク分散のため、オフィスを主な投資対象とし、住宅及び商業施設にも投資する総合型のポートフォリオの構築を図ります。

また、本投資法人は、本資産運用会社独自の物件取得ネットワークを基盤とし、メインスポンサーである双日株式会社、サブスポンサーであるクッシュマン・アンド・ウェイクフィールド・アセットマネジメント株式会社（以下「クッシュマン」といいます。）及びアジリティー・アセット・アドバイザーズ株式会社といったスポンサー各社の不動産投資におけるネットワークも活用し、第三者からの相対取引を中心とした物件取得を通じて資産規模を拡大し、外部成長を図っていきます。

さらに、本投資法人は、第三者からの物件取得に際して、メインスポンサーである双日株式会社によるウエアハウジングを通じた物件の一時保有及び治癒機能、並びにスポンサー各社が組成に関与するブリッジファンドによる物件の一時的保有機能の提供を受けることを検討し、かかる機能の提供を受けることで物件取得機会の逸失を回避し、成長機会の最大化を目指します。

## C 内部成長戦略

本投資法人は、本資産運用会社の役職員がスポンサー各社での業務で培った独自のネットワークと知見に基づき、ポートフォリオ及び個別物件の特性に応じた競争力の維持・向上のための資産運用を行います。また、主としてメインスポンサーの双日株式会社の子会社である双日総合管理株式会社に対して、運用資産のプロパティ・マネジメント業務及びビル・マネジメント業務を委託することで、同社の実績に基づく知見の活用及び規模の経済を通じたコスト削減効果により、稼働率の維持及び収益力の向上を図っていきます。

また、日常の管理運営業務に加えて、リノベーションや計画的修繕に関しても、適切なプロセスを前提に主として双日総合管理株式会社を委託先として活用し、同社の大規模修繕コンサルティング等により培われた知見に基づく、建物診断から修繕設計、施工業者選定、工事管理までの一貫したサポートとともに、費用対効果を十分に考慮の上、工事の優先順位やコストの適正化に配慮した効率的かつ計画的な修繕を受けることで、運用資産の価値の維持・向上を図っていきます。

さらに、オフィスのリーシング計画については、サブスポンサーのクッシュマンから提供される各種データ等を参考に、新規募集賃料及び既存テナントの更改賃料を設定し、また新規テナント候補への営業方針を定めることで機動的なリーシング活動を行っていきます。

## D 財務戦略

本投資法人は、中長期的に安定的な財務基盤を構築するため、分散され、バランスのとれた資金調達を行うことを財務戦略の基本方針としています。

有利子負債については、LTVの上限について60%を目途としていますが、当期末現在における本投資法人のLTVは45.7%であり、45%から55%間の水準で推移させることを当面のLTV水準に関する方針としています。

また、借入先については、当期末現在のシンジケートローン団を中心とした強固なバンクフォーメーションを維持していきます。

## ③ 決算後に生じた重要な事実

該当事項はありません。

## ④ 運用状況の見通し

2017年12月期（2017年7月1日～2017年12月31日）及び2018年6月期（2018年1月1日～2018年6月30日）の運用状況については、以下のとおり見込んでいます。運用状況の予想の前提条件については、後記「2017年12月期（2017年7月1日～2017年12月31日）及び2018年6月期（2018年1月1日～2018年6月30日）の運用状況の見通しの前提条件」をご参照ください。

## 2017年12月期（2017年7月1日～2017年12月31日）

営業収益	7,101百万円
営業利益	3,729百万円
経常利益	3,222百万円
当期純利益	3,221百万円
1口当たり分配金	8,224円
1口当たり利益超過分配金	0円

## 2018年6月期（2018年1月1日～2018年6月30日）

営業収益	6,976百万円
営業利益	3,684百万円
経常利益	3,174百万円
当期純利益	3,173百万円
1口当たり分配金	8,100円
1口当たり利益超過分配金	0円

(注) 上記予想数値は一定の前提条件の下に算出した現時点のものであり、状況の変化により実際の当期純利益、分配金等は変動する可能性があります。また、本予想数値は分配金の額を保証するものではありません。

2017年12月期（2017年7月1日～2017年12月31日）及び2018年6月期（2018年1月1日～2018年6月30日）の  
運用状況の見通しの前提条件

項目	前提条件
計算期間	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2017年12月期（第11期）（2017年7月1日～2017年12月31日）（184日）</li> <li>・2018年6月期（第12期）（2018年1月1日～2018年6月30日）（181日）</li> </ul>
運用資産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本書の日付現在保有している不動産信託受益権（合計65物件）について、2018年6月期末までの間に変動（新規物件の取得、保有物件の処分等）が生じないことを前提としています。</li> <li>・実際には新規物件取得、又は保有物件の処分等により変動が生ずる可能性があります。</li> </ul>
営業収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・賃貸事業収益については、過去の実績値をもとに、それぞれ市場動向や物件の競争力等を勘案して算出しており、2017年12月期は7,080百万円、2018年6月期は6,943百万円を見込んでいます。</li> <li>・受取配当金については、2017年12月期は20百万円、2018年6月期は33百万円を見込んでいます。</li> <li>・営業収益については、賃借人による賃料の滞納又は不払いがないことを前提としています。</li> </ul>
営業費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減価償却費以外の賃貸事業費用は、過去の実績値をもとに、費用の変動要素を反映して算出しており、2017年12月期は1,911百万円、2018年6月期は1,820百万円を見込んでいます。</li> <li>・減価償却費については、取得価格に付随費用等を含めて定額法により算出しており、2017年12月期は745百万円、2018年6月期は780百万円を想定しています。</li> <li>・固定資産税及び都市計画税については、2017年12月期は500百万円、2018年6月期は510百万円を想定しています。</li> <li>・修繕費に関しては、物件ごとに取得したエンジニアリング・レポートを参考に、本資産運用会社が策定した修繕計画をもとに、必要と想定される額を計上しています。ただし、予想し難い要因による修繕が発生する可能性があること、一般的に年度による金額の差異が大きくなること及び定期的に発生する金額ではないこと等から、予想金額と大きく異なる結果となる可能性があります。</li> <li>・資産運用報酬については、2017年12月期は528百万円、2018年6月期は519百万円を見込んでいます。</li> </ul>
営業外収益	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業外収益は、2017年12月期、2018年6月期ともに見込んでいません。</li> </ul>
営業外費用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支払利息等その他借入関連費用として、2017年12月期は506百万円、2018年6月期は510百万円を見込んでいます。</li> </ul>
借入金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本書の日付現在において、103,570百万円の借入金残高があります。</li> <li>・2018年6月期末までに返済期限が到来する借入金（19,700百万円）については、全額借換えを行うことを前提としています。</li> <li>・LTVは、2017年12月期の期末時点で45.7%程度、2018年6月期の期末時点で45.8%程度となる見込みです。</li> <li>・LTVの算出に当たっては、以下の算式を使用しています。 LTV=有利子負債総額÷資産総額×100</li> </ul>
投資口	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本書の日付現在発行済みである391,760口を前提とし、2018年6月期末までに新投資口の発行等による投資口数の変動がないことを前提としています。</li> </ul>

項目	前提条件
1口当たり分配金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1口当たり分配金は、本投資法人の規約に定める金銭の分配の方針に従い利益の全額を分配することを前提として算出しています。</li> <li>・2017年12月期及び2018年6月期において、評価・換算差額等として金利スワップの繰延ヘッジ損益を2017年6月期と同額と見込んでおり、金利スワップの時価に変動が無い前提で算出しています。</li> <li>・1口当たり分配金は、今後の不動産等の追加取得若しくは売却、賃借人の異動等に伴う賃料収入の変動、予期せぬ修繕の発生等運用環境の変化、金利の変動、又は今後のさらなる新投資口の発行等を含む種々の要因により大きく変動する可能性があります。</li> </ul>
1口当たり利益超過分配金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利益を超えた金銭の分配については、現時点で行う予定はありません。</li> <li>・なお、金利スワップの繰延ヘッジ損益がマイナスとなる場合には、純資産控除項目（投資法人の計算に関する規則第2条第2項第30号ロに定めるものをいいます。）が分配金に与える影響を考慮して、純資産控除項目に相当する金額として本投資法人が決定する金額を一時差異等調整引当額として分配する可能性があります。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令、税制、会計基準、東京証券取引所の上場規則、一般社団法人投資信託協会の規則等において、上記の予想数値に影響を与える改正が行われないことを前提としています。</li> <li>・一般的な経済動向及び不動産市況等に不測の重大な変化が生じないことを前提としています。</li> </ul>

(3) 投資リスク

最新の有価証券報告書（2017年3月24日提出）における「投資リスク」から重要な変更がないため開示を省略しています。

## 3. 財務諸表

## (1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前期 (2016年12月31日)	当期 (2017年 6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,269,839	11,217,610
信託現金及び信託預金	12,204,569	5,523,380
営業未収入金	100,762	112,358
前払費用	351,021	370,288
未収還付法人税等	2,597	8,006
その他	12,520	5,554
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	16,941,311	17,237,198
固定資産		
有形固定資産		
信託建物	※1 48,349,873	※1 48,602,616
減価償却累計額	△4,100,611	△4,820,866
信託建物(純額)	44,249,261	43,781,749
信託構築物	155,644	157,997
減価償却累計額	△28,886	△32,975
信託構築物(純額)	126,758	125,021
信託機械及び装置	74,342	156,868
減価償却累計額	△3,527	△8,993
信託機械及び装置(純額)	70,815	147,875
信託工具、器具及び備品	50,572	64,963
減価償却累計額	△7,590	△12,010
信託工具、器具及び備品(純額)	42,982	52,952
信託土地	147,626,696	147,626,696
信託建設仮勘定	3,146	—
有形固定資産合計	192,119,660	191,734,295
無形固定資産		
信託借地権	15,806,402	15,806,402
無形固定資産合計	15,806,402	15,806,402
投資その他の資産		
投資有価証券	848,175	895,866
敷金及び保証金	10,110	10,110
長期前払費用	614,313	699,633
その他	58,074	50,535
投資その他の資産合計	1,530,672	1,656,145
固定資産合計	209,456,735	209,196,843
資産合計	226,398,047	226,434,042

(単位：千円)

	前期 (2016年12月31日)	当期 (2017年 6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	809,189	611,972
1年内返済予定の長期借入金	21,800,000	19,700,000
未払費用	218,573	223,658
未払消費税等	176,742	107,251
繰延税金負債	3,160	495
前受金	1,091,790	1,172,706
その他	251,084	360,827
流動負債合計	24,350,541	22,176,913
固定負債		
長期借入金	81,770,000	83,870,000
信託預り敷金及び保証金	7,880,370	7,841,792
繰延税金負債	7,802	5,034
固定負債合計	89,658,172	91,716,827
負債合計	114,008,714	113,893,741
<b>純資産の部</b>		
投資主資本		
出資総額	109,285,298	109,285,298
剰余金		
当期未処分利益又は当期未処理損失(△)	3,080,273	3,242,988
剰余金合計	3,080,273	3,242,988
投資主資本合計	112,365,572	112,528,286
評価・換算差額等		
繰延ヘッジ損益	23,761	12,014
評価・換算差額等合計	23,761	12,014
純資産合計	※2 112,389,333	※2 112,540,301
負債純資産合計	226,398,047	226,434,042

## (2) 損益計算書

(単位：千円)

	前期 自 2016年 7月 1日 至 2016年12月31日	当期 自 2017年 1月 1日 至 2017年 6月30日
<b>営業収益</b>		
賃貸事業収入	※1 6,110,177	※1 6,278,141
その他賃貸事業収入	※1 693,951	※1 628,546
受取配当金	32,307	40,482
<b>営業収益合計</b>	<b>6,836,436</b>	<b>6,947,169</b>
<b>営業費用</b>		
賃貸事業費用	※1 2,606,741	※1 2,530,372
資産運用報酬	527,285	527,524
資産保管手数料	12,995	12,841
一般事務委託手数料	50,230	49,256
役員報酬	4,200	4,200
会計監査人報酬	13,000	13,000
その他営業費用	94,725	113,783
<b>営業費用合計</b>	<b>3,309,177</b>	<b>3,250,978</b>
<b>営業利益</b>	<b>3,527,258</b>	<b>3,696,191</b>
<b>営業外収益</b>		
受取利息	76	77
還付加算金	—	2
<b>営業外収益合計</b>	<b>76</b>	<b>80</b>
<b>営業外費用</b>		
支払利息	247,058	250,354
融資関連費用	224,763	227,077
<b>営業外費用合計</b>	<b>471,822</b>	<b>477,432</b>
<b>経常利益</b>	<b>3,055,512</b>	<b>3,218,840</b>
<b>特別利益</b>		
補助金収入	—	※2 44,834
<b>特別利益合計</b>	<b>—</b>	<b>44,834</b>
<b>特別損失</b>		
固定資産圧縮損	—	※3 44,593
<b>特別損失合計</b>	<b>—</b>	<b>44,593</b>
<b>税引前当期純利益</b>	<b>3,055,512</b>	<b>3,219,081</b>
法人税、住民税及び事業税	643	638
法人税等調整額	△0	0
法人税等合計	643	638
<b>当期純利益</b>	<b>3,054,868</b>	<b>3,218,442</b>
前期繰越利益	25,404	24,545
<b>当期末処分利益又は当期末処理損失(△)</b>	<b>3,080,273</b>	<b>3,242,988</b>

## (3) 投資主資本等変動計算書

前期(自 2016年7月1日 至 2016年12月31日)

(単位:千円)

	投資主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	出資総額	剰余金		投資主資本合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
		当期末処分利益 又は当期末処理 損失(△)	剰余金合計				
当期首残高	109,285,298	2,971,047	2,971,047	112,256,346	7,395	7,395	112,263,742
当期変動額							
剰余金の配当		△2,945,643	△2,945,643	△2,945,643			△2,945,643
当期純利益		3,054,868	3,054,868	3,054,868			3,054,868
投資主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)					16,365	16,365	16,365
当期変動額合計	—	109,225	109,225	109,225	16,365	16,365	125,591
当期末残高	※1 109,285,298	3,080,273	3,080,273	112,365,572	23,761	23,761	112,389,333

当期(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

(単位:千円)

	投資主資本				評価・換算差額等		純資産合計
	出資総額	剰余金		投資主資本合計	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	
		当期末処分利益 又は当期末処理 損失(△)	剰余金合計				
当期首残高	109,285,298	3,080,273	3,080,273	112,365,572	23,761	23,761	112,389,333
当期変動額							
剰余金の配当		△3,055,728	△3,055,728	△3,055,728			△3,055,728
当期純利益		3,218,442	3,218,442	3,218,442			3,218,442
投資主資本以外の 項目の当期変動額 (純額)					△11,746	△11,746	△11,746
当期変動額合計	—	162,714	162,714	162,714	△11,746	△11,746	150,967
当期末残高	※1 109,285,298	3,242,988	3,242,988	112,528,286	12,014	12,014	112,540,301

## (4) 金銭の分配に係る計算書

	前期	当期
	自 2016年 7月 1日 至 2016年12月31日	自 2017年 1月 1日 至 2017年 6月30日
	(単位：円)	(単位：円)
I 当期末処分利益	3,080,273,361	3,242,988,043
II 分配金の額	3,055,728,000	3,219,091,920
(投資口1口当たり分配金の額)	(7,800)	(8,217)
III 次期繰越利益	24,545,361	23,896,123

分配金の額の算出方法	前期	当期
	<p>本投資法人の規約第35条第1項第2号に定める金銭の分配の方針に基づき、分配金額は租税特別措置法第67条の15に規定される配当可能利益の金額の100分の90に相当する額を超える金額としています。</p> <p>かかる方針をふまえ、当期末処分利益を超えず、かつ法人税等の発生による投資主負担が最小限に抑えられる範囲で、発行済投資口の総口数391,760口の整数倍となる3,055,728,000円を利益分配金として分配することとしました。</p> <p>なお、本投資法人の規約第35条第2項に定める利益を超えた金銭の分配は行いません。</p>	<p>本投資法人の規約第35条第1項第2号に定める金銭の分配の方針に基づき、分配金額は租税特別措置法第67条の15に規定される配当可能利益の金額の100分の90に相当する額を超える金額としています。</p> <p>かかる方針をふまえ、当期末処分利益を超えず、かつ法人税等の発生による投資主負担が最小限に抑えられる範囲で、発行済投資口の総口数391,760口の整数倍となる3,219,091,920円を利益分配金として分配することとしました。</p> <p>なお、本投資法人の規約第35条第2項に定める利益を超えた金銭の分配は行いません。</p>

## (5) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前期 自 2016年 7月 1日 至 2016年12月31日	当期 自 2017年 1月 1日 至 2017年 6月30日
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前当期純利益	3,055,512	3,219,081
減価償却費	753,613	734,495
固定資産除却損	1,849	342
固定資産圧縮損	—	44,593
受取利息	△76	△77
支払利息	247,058	250,354
営業未収入金の増減額 (△は増加)	27,093	△11,614
前払費用の増減額 (△は増加)	5,296	△19,266
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△839	△85,320
未払消費税等の増減額 (△は減少)	3,074	△69,490
営業未払金の増減額 (△は減少)	△6,439	△22,860
未払費用の増減額 (△は減少)	13,872	5,642
前受金の増減額 (△は減少)	△4,151	80,915
その他	△20,327	4,052
小計	4,075,535	4,130,848
利息の受取額	76	77
利息の支払額	△245,369	△250,911
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△3,640	△6,047
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,826,602	3,873,967
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
信託有形固定資産の取得による支出	△255,360	△568,669
信託預り敷金及び保証金の受入による収入	431,227	261,839
信託預り敷金及び保証金の返還による支出	△232,627	△200,895
投資有価証券の払戻による収入	3,935	2,402
投資有価証券の取得による支出	△5,579	△51,887
その他の支出	△1,244	△1,244
投資活動によるキャッシュ・フロー	△59,648	△558,454
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	10,000,000	11,600,000
長期借入金の返済による支出	△10,000,000	△11,600,000
分配金の支払額	△2,935,264	△3,048,932
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,935,264	△3,048,932
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	831,690	266,581
現金及び現金同等物の期首残高	15,642,719	16,474,409
現金及び現金同等物の期末残高	※1 16,474,409	※1 16,740,990

## (6) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (7) 重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. 資産の評価基準及び評価方法	<p>有価証券          その他有価証券          時価のないもの          移動平均法による原価法を採用しています。          なお、匿名組合出資持分については、匿名組合に対する持分相当額を純額で取り込む方法を採用しています。</p>
2. 固定資産の減価償却の方法	<p>(1) 有形固定資産（信託財産を含む）          定額法を採用しています。          なお、主な有形固定資産の耐用年数は以下のとおりです。          信託建物 2～63年          信託構築物 2～45年          信託機械及び装置 10年          信託工具、器具及び備品 3～15年</p> <p>(2) 長期前払費用          定額法を採用しています。</p>
3. 引当金の計上基準	<p>貸倒引当金の計上基準          債権の貸倒損失に備えるため、貸倒懸念債権等特定の債権について個別の回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しています。</p>
4. 収益及び費用の計上基準	<p>固定資産税等の処理方法          保有する不動産に係る固定資産税、都市計画税及び償却資産税等については、賦課決定された税額のうち当期に対応する額を賃貸事業費用として費用処理する方法を採用しています。          なお、不動産又は不動産を信託財産とする信託受益権の取得に伴い、本投資法人が負担すべき初年度の固定資産税等相当額については、費用に計上せず当該不動産等の取得原価に算入しています。          不動産等の取得原価に算入した固定資産税等相当額は、前期、当期ともに該当ありません。</p>
5. ヘッジ会計の方法	<p>(1) ヘッジ会計の方法          繰延ヘッジ処理によっています。なお、特例処理の要件を満たす金利スワップ取引については、特例処理を採用しています。</p> <p>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象          ヘッジ手段 金利スワップ取引          ヘッジ対象 借入金金利</p> <p>(3) ヘッジ方針          本投資法人は、財務方針に基づき投資法人規約に規定するリスクをヘッジする目的でデリバティブ取引を行っています。</p> <p>(4) ヘッジ有効性評価の方法          ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額の比率を検証することにより、ヘッジの有効性を評価しています。但し、特例処理の要件を満たす金利スワップ取引については、有効性の評価は省略しています。</p>
6. キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲	<p>キャッシュ・フロー計算書における資金（現金及び現金同等物）は、手許現金及び信託現金、随時引き出し可能な預金及び信託預金並びに容易に換金可能であり、かつ、価値の変動について僅少なりリスクしか負わない取得日から3か月以内に償還期限の到来する短期投資からなっています。</p>

<p>7. その他財務諸表作成のための基本となる重要な事項</p>	<p>(1) 不動産等を信託財産とする信託受益権に関する会計処理方法          保有する不動産等を信託財産とする信託受益権については、信託財産内の全ての資産及び負債勘定並びに信託財産に生じた全ての収益及び費用勘定について、貸借対照表及び損益計算書の該当勘定科目に計上しています。          なお、該当勘定科目に計上した信託財産のうち重要性がある下記の科目については、貸借対照表において区分掲記しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>① 信託現金及び信託預金</li> <li>② 信託建物、信託構築物、信託機械及び装置、信託工具、器具及び備品、信託土地、信託建設仮勘定、信託借地権</li> <li>③ 信託預り敷金及び保証金</li> </ul> <p>(2) 消費税等の処理方法          消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっています。ただし、固定資産等に係る控除対象外消費税は個々の固定資産等の取得原価に算入しています。</p>
-----------------------------------	---



## 〔投資主資本等変動計算書に関する注記〕

	前期		当期	
	自 2016年 7月 1日	至 2016年12月31日	自 2017年 1月 1日	至 2017年 6月30日
※1. 発行可能投資口総口数及び発行済投資口の総口数				
発行可能投資口総口数		4,000,000口		4,000,000口
発行済投資口の総口数		391,760口		391,760口

## 〔キャッシュ・フロー計算書に関する注記〕

	前期		当期	
	自 2016年 7月 1日	至 2016年12月31日	自 2017年 1月 1日	至 2017年 6月30日
※1. 現金及び現金同等物の期末残高と貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (単位：千円)				
現金及び預金		4,269,839		11,217,610
信託現金及び信託預金		12,204,569		5,523,380
現金及び現金同等物		16,474,409		16,740,990

## 〔リース取引に関する注記〕

オペレーティング・リース取引（貸主側）

未経過リース料

(単位：千円)

	前期	当期
	(2016年12月31日)	(2017年 6月30日)
1年内	467,772	420,855
1年超	478,601	690,360
合計	946,374	1,111,215

## 〔金融商品に関する注記〕

## 1. 金融商品の状況に関する事項

## (1) 金融商品に対する取組方針

本投資法人は、資産の取得、設備投資、修繕又は有利子負債の返済等に充当する資金を、主として金融機関からの借入れ、投資法人債の発行及び投資口の発行により調達を行います。

有利子負債による調達においては、原則として借入期間の長期化・金利の固定化及び返済期限の分散化等を通じた財務の安定性・流動性確保を目指すなど、堅固な財務体質を構築するための保守的な財務戦略を基本方針としています。また、一時的な余剰資金の効率的な運用に資するため、各種の預金等で運用することがあります。

デリバティブ取引については、借入金等の金利変動リスクをヘッジすることを目的としたものに限り、投機的な取引は行わない方針です。

## (2) 金融商品の内容及びそのリスク

借入金の資金使途は、資産の取得、設備投資、修繕、本投資法人の運営に要する資金又は債務の返済等です。借入金については、満期時に代替資金が調達できない流動性リスクに晒されています。また、変動金利による借入金は、支払金利の上昇リスクに晒されています。

預金は、本投資法人の余剰資金を運用するものでありますが、預入先金融機関の破綻等の信用リスクに晒されています。

## (3) 金融商品に係るリスク管理体制

本投資法人では、資金調達に係る流動性リスクについては、借入先金融機関の分散化を図るとともに、投資法人債の発行や投資口の発行等による資本市場からの資金調達を含めた多角的な資金調達を検討・実行することにより、リスクを管理・限定することとしています。

支払金利の上昇リスクについては、長期固定金利による借入割合を増やすことで、リスクを限定することができ

ます。また、デリバティブ取引は、金利上昇リスクのヘッジ手段として活用することができることとしています。当期末現在、変動金利による借入金については、支払金利の変動リスクを回避し支払利息の固定化を図るために、デリバティブ取引（金利スワップ取引）をヘッジ手段として利用しています。なお、ヘッジの有効性の評価方法については、ヘッジ対象のキャッシュ・フロー変動の累計とヘッジ手段のキャッシュ・フロー変動の累計とを比較し、両者の変動額の比率を検証することにより、ヘッジの有効性を評価しています。但し、特例処理の要件を満たす金利スワップ取引については、有効性の評価は省略しています。

預金に関する預入先の信用リスクについては、預入先金融機関の分散化を図ることにより、当該リスクを限定することとしています。

#### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価については、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれています。当該価額の算定においては一定の前提条件等を採用しているため、異なる前提条件等を用いた場合、当該価額が異なる場合もあります。

## 2. 金融商品の時価等に関する事項

2016年12月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めていません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	4,269,839	4,269,839	—
(2) 信託現金及び信託預金	12,204,569	12,204,569	—
資産合計	16,474,409	16,474,409	—
(3) 1年内返済予定の長期借入金	21,800,000	21,800,000	—
(4) 長期借入金	81,770,000	81,671,833	△98,166
負債合計	103,570,000	103,471,833	△98,166
(5) デリバティブ取引	34,726	34,726	—

2017年6月30日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、以下のとおりです。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは、次表には含めていません（（注2）参照）。

（単位：千円）

	貸借対照表計上額	時価	差額
(1) 現金及び預金	11,217,610	11,217,610	—
(2) 信託現金及び信託預金	5,523,380	5,523,380	—
資産合計	16,740,990	16,740,990	—
(3) 1年内返済予定の長期借入金	19,700,000	19,714,848	14,848
(4) 長期借入金	83,870,000	83,845,800	△24,199
負債合計	103,570,000	103,560,649	△9,350
(5) デリバティブ取引	17,546	17,546	—

#### (注1) 金融商品の時価の算定方法及びデリバティブ取引に関する事項

##### (1) 現金及び預金並びに(2) 信託現金及び信託預金

これらは短期間で決済されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっています。

##### (3) 1年内返済予定の長期借入金及び(4) 長期借入金

長期借入金のうち、変動金利によるものは、短期間で市場金利を反映し、また、本投資法人の信用状態は実行後と大きく異なっていないことから、時価は帳簿価額とほぼ等しいと考えられるため、当該帳簿価額によっています。ただし、金利スワップの特例処理の対象とされた変動金利による長期借入金は、当該金利スワップと一体として処理された元利金の合計額を同様の借り入れを行った場合に適用される合理的に見積もられる利率で割り引いて算定する方法によっています。また、固定金利によるものは、元利金の合計額を同様の借り入れを行った場合に適用される合理的に見積もられる利率で割り引いて算定する方法によっています。

##### (5) デリバティブ取引

後記「デリバティブ取引に関する注記」をご参照ください。

## (注2) 時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品

賃借人から預託されている信託預り敷金及び保証金（貸借対照表計上額 前期：7,880,370千円 当期：7,841,792千円）については、市場価格がなく、かつ、賃貸借契約の期間の定めがあっても中途解約や更新・再契約の可能性があること、さらには本投資法人の保有資産における過去のテナントの退去実績を分析しても個性が強く何ら傾向を見出せないこと等から、返還時期の想定を行うことが難しく、合理的に将来キャッシュ・フローを見積ることができません。よって、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしていません。

投資有価証券（貸借対照表計上額 前期：848,175千円 当期：895,866千円）に関しては市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、時価開示の対象とはしていません。

## (注3) 金銭債権の決算日（2016年12月31日）後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内	5年超
現金及び預金	4,269,839	—	—	—	—	—
信託現金及び 信託預金	12,204,569	—	—	—	—	—
合計	16,474,409	—	—	—	—	—

## 金銭債権の決算日（2017年6月30日）後の償還予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内	5年超
現金及び預金	11,217,610	—	—	—	—	—
信託現金及び 信託預金	5,523,380	—	—	—	—	—
合計	16,740,990	—	—	—	—	—

## (注4) 借入金の決算日（2016年12月31日）後の返済予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内	5年超
長期借入金	21,800,000	20,300,000	21,970,000	20,500,000	18,500,000	500,000
合計	21,800,000	20,300,000	21,970,000	20,500,000	18,500,000	500,000

## 借入金の決算日（2017年6月30日）後の返済予定額

(単位：千円)

	1年以内	1年超2年以内	2年超3年以内	3年超4年以内	4年超5年以内	5年超
長期借入金	19,700,000	21,770,000	20,500,000	19,500,000	10,000,000	12,100,000
合計	19,700,000	21,770,000	20,500,000	19,500,000	10,000,000	12,100,000

## 〔有価証券に関する注記〕

## 前期（2016年12月31日）

匿名組合出資持分（貸借対照表計上額848,175千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載していません。

## 当期（2017年6月30日）

匿名組合出資持分（貸借対照表計上額895,866千円）は、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められるため、記載していません。

## 〔デリバティブ取引に関する注記〕

## 1. ヘッジ会計が適用されていないもの

前期(2016年12月31日)

該当事項はありません。

当期(2017年6月30日)

該当事項はありません。

## 2. ヘッジ会計が適用されているもの

前期(2016年12月31日)

(単位:千円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等		時価	当該時価の算定方法
				うち1年超		
原則的処理方法	金利スワップ取引 受取変動・支払固定	長期借入金	32,600,000	10,800,000	34,726	取引先金融機関から提示された価格によっています。
金利スワップの特例処理	金利スワップ取引 受取変動・支払固定	長期借入金	52,900,000	52,900,000	(注)	—
	合計		85,500,000	63,700,000	34,726	

(注) 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、前記「金融商品に関する注記 2. 金融商品の時価等に関する事項」における「(4) 長期借入金」の時価に含めて記載しています。

当期(2017年6月30日)

(単位:千円)

ヘッジ会計の方法	デリバティブ取引の種類等	主なヘッジ対象	契約額等		時価	当該時価の算定方法
				うち1年超		
原則的処理方法	金利スワップ取引 受取変動・支払固定	長期借入金	21,000,000	10,800,000	17,546	取引先金融機関から提示された価格によっています。
金利スワップの特例処理	金利スワップ取引 受取変動・支払固定	長期借入金	64,500,000	62,000,000	(注)	—
	合計		85,500,000	72,800,000	17,546	

(注) 金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、前記「金融商品に関する注記 2. 金融商品の時価等に関する事項」における「(3) 1年内返済予定の長期借入金」及び「(4) 長期借入金」の時価に含めて記載しています。

## 〔退職給付に関する注記〕

前期（2016年12月31日）

本投資法人には、退職給付制度がありませんので、該当事項はありません。

当期（2017年6月30日）

本投資法人には、退職給付制度がありませんので、該当事項はありません。

## 〔税効果会計に関する注記〕

## 1. 繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別内訳

	前期 (2016年12月31日)	当期 (2017年6月30日)
(単位：千円)		
(繰延税金資産)		
未払事業税損金不算入額	1	1
貸倒引当金	0	0
繰延税金資産合計	1	1
(繰延税金負債)		
繰延ヘッジ損益	10,964	5,532
繰延税金負債合計	10,964	5,532
繰延税金資産（△負債） の純額	△10,962	△5,530

## 2. 法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との間に重要な差異があるときの、当該差異の原因となった主要な項目別の内訳

	前期 (2016年12月31日)	当期 (2017年6月30日)
法定実効税率	31.74%	31.74%
(調整)		
支払分配金の損金算入額	△31.74%	△31.74%
住民税均等割	0.02%	0.02%
その他	0.00%	0.00%
税効果会計適用後の法人税 等の負担率	0.02%	0.02%

## 〔持分法損益等に関する注記〕

前期（自 2016年7月1日 至 2016年12月31日）

本投資法人には、関連会社が存在しないため、該当事項はありません。

当期（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

本投資法人には、関連会社が存在しないため、該当事項はありません。

〔関連当事者との取引に関する注記〕

1. 関連当事者との取引

(1) 親会社及び法人主要投資主等

前期（自 2016年7月1日 至 2016年12月31日）

該当事項はありません。

当期（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

該当事項はありません。

(2) 関連会社等

前期（自 2016年7月1日 至 2016年12月31日）

該当事項はありません。

当期（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

該当事項はありません。

(3) 兄弟会社等

前期（自 2016年7月1日 至 2016年12月31日）

該当事項はありません。

当期（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

該当事項はありません。

(4) 役員及び個人主要投資主等

前期（自 2016年7月1日 至 2016年12月31日）

該当事項はありません。

当期（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

該当事項はありません。

## 〔資産除去債務に関する注記〕

前期（自 2016年7月1日 至 2016年12月31日）

該当事項はありません。

当期（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

該当事項はありません。

## 〔賃貸等不動産に関する注記〕

本投資法人は、賃貸用のオフィスビル、住宅及び商業施設（土地等を含みます。）を所有しています。これら賃貸等不動産の貸借対照表計上額、期中増減額及び時価は、次のとおりです。

（単位：千円）

	前期	当期
	自 2016年 7月 1日 至 2016年12月31日	自 2017年 1月 1日 至 2017年 6月30日
貸借対照表計上額		
期首残高	208,212,032	207,922,916
期中増減額	△289,116	△382,218
期末残高	207,922,916	207,540,698
期末時価	220,087,000	224,082,000

（注1）貸借対照表計上額は、取得原価から減価償却累計額を控除した金額で記載しています。

（注2）貸借対照表計上額には、信託借地権の金額も含めていますが、信託建設仮勘定の金額は含めていません。

（注3）賃貸等不動産の前期期中増減額のうち、主な増加額は資本的支出によるものであり、主な減少額は減価償却費の計上によるものです。

（注4）賃貸等不動産の当期期中増減額のうち、主な増加額は資本的支出によるものであり、主な減少額は減価償却費の計上によるものです。

（注5）期末の時価は、社外の不動産鑑定士による鑑定評価額を記載しています。

なお、賃貸等不動産に関する損益は、「損益計算書に関する注記」に記載のとおりです。

## 〔セグメント情報等に関する注記〕

## 〔セグメント情報〕

本投資法人は、不動産賃貸事業の単一セグメントであるため、記載を省略しています。

## 〔関連情報〕

前期（自 2016年7月1日 至 2016年12月31日）

## 1. 製品及びサービス毎の情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

## 2. 地域毎の情報

## (1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

## 3. 主要な顧客毎の情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

当期（自 2017年1月1日 至 2017年6月30日）

1. 製品及びサービス毎の情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

2. 地域毎の情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しています。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しています。

3. 主要な顧客毎の情報

外部顧客への売上高のうち、損益計算書の営業収益の10%以上を占める相手先がないため、記載を省略しています。

〔1口当たり情報に関する注記〕

	前期	当期
	自 2016年 7月 1日 至 2016年12月31日	自 2017年 1月 1日 至 2017年 6月30日
1口当たり純資産額	286,883円	287,268円
1口当たり当期純利益	7,797円	8,215円

(注1) 1口当たり当期純利益は、当期純利益を日数加重平均投資口数で除することにより算定しています。また、潜在投資口調整後1口当たり当期純利益については、潜在投資口がないため記載していません。

(注2) 1口当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前期	当期
	自 2016年 7月 1日 至 2016年12月31日	自 2017年 1月 1日 至 2017年 6月30日
当期純利益（千円）	3,054,868	3,218,442
普通投資主に帰属しない金額（千円）	—	—
普通投資口に係る当期純利益（千円）	3,054,868	3,218,442
期中平均投資口数（口）	391,760	391,760

〔重要な後発事象に関する注記〕

該当事項はありません。

## (9) 発行済投資口の総口数の増減

本投資法人の当期末までの最近5年間における発行済投資口の総口数及び出資総額の増減は以下のとおりです。

年月日	摘要	発行済投資口の総口数(口)		出資総額(百万円)(注1)		備考
		増減	残高	増減	残高	
2014年 1月17日	投資口の分割	200	400	—	100	(注2)
2014年 4月23日	公募増資	144,200	144,600	35,066	35,166	(注3)
2014年 5月23日	第三者割当増資	7,210	151,810	1,753	36,919	(注4)
2015年 2月10日	公募増資	145,000	296,810	46,137	83,057	(注5)
2015年 3月10日	第三者割当増資	7,250	304,060	2,306	85,364	(注6)
2015年 7月 1日	公募増資	84,000	388,060	22,911	108,276	(注7)
2015年 7月28日	第三者割当増資	3,700	391,760	1,009	109,285	(注8)

(注1) 出資総額は、百万円未満を切捨てて記載しています。

(注2) 2014年1月17日を効力発生日として投資口1口につき2口の割合による投資口の分割をしました。

(注3) 1口当たり発行価格252,000円(発行価額243,180円)にて、新規物件の取得資金の調達等を目的として公募により新投資口を発行しました。

(注4) 1口当たり発行価額243,180円にて、公募増資に伴い、第三者割当により新投資口を発行しました。

(注5) 1口当たり発行価格330,037円(発行価額318,189円)にて、新規物件の取得資金の調達等を目的として公募により新投資口を発行しました。

(注6) 1口当たり発行価額318,189円にて、公募増資に伴い、第三者割当により新投資口を発行しました。

(注7) 1口当たり発行価格282,918円(発行価額272,761円)にて、新規物件の取得資金の調達等を目的として公募により新投資口を発行しました。

(注8) 1口当たり発行価額272,761円にて、公募増資に伴い、第三者割当により新投資口を発行しました。

#### 4. 役員の異動

##### (1) 本投資法人の役員の異動

当期中の役員の異動はありません。本書の日付現在における役員については、最新の有価証券報告書（2017年3月24日提出）をご参照ください。

なお、執行役員 石川 久夫並びに監督役員 島田 康弘及び矢作 大は、2017年9月30日をもって任期満了となるため、2017年9月20日に開催予定の本投資法人の投資主総会において、執行役員1名（候補者：杉田 俊夫）及び監督役員2名（候補者：島田 康弘及び矢作 大）の選任（監督役員については重任）について議案を提出します。本議案において執行役員及び監督役員の任期は、本投資法人現行規約の定めにより、2017年10月1日より2年間とします。

##### (2) 本資産運用会社の役員の異動

2017年3月31日付で、本資産運用会社の取締役（非常勤）西村 康が退任し、同年4月1日付で茂木 良夫が取締役（非常勤）に就任しました。また、2017年6月15日付で、本資産運用会社の取締役副社長兼財務企画本部長 渾大防 清が退任しました。なお、同日より代表取締役社長 杉田 俊夫が財務企画本部長を兼務しています。

## 5. 参考情報

## (1) 投資状況

資産の種類	用途	地域	前期 (2016年12月31日)		当期 (2017年6月30日)		
			保有総額 (百万円) (注1)	対総資産比率 (%) (注2)	保有総額 (百万円) (注1)	対総資産比率 (%) (注2)	
信託 不動産 (注3)	オフィス	都心6区(注4)	122,349	54.0	122,158	53.9	
		三大都市圏(注5) (都心6区は除く)	60,991	26.9	60,942	26.9	
		小計	183,340	81.0	183,100	80.9	
	住宅	三大都市圏(注5) (都心6区を含む)	16,814	7.4	16,708	7.4	
		政令指定都市等(注6)	2,233	1.0	2,214	1.0	
		小計	19,048	8.4	18,922	8.4	
	商業施設	—	5,533	2.4	5,517	2.4	
	合計			207,922	91.8	207,540	91.7
	投資有価証券(注7)			848	0.4	895	0.4
預金・その他の資産			17,626	7.8	17,997	7.9	
資産総額計			226,398	100.0	226,434	100.0	

(注1) 「保有総額」は、各決算期時点の貸借対照表計上額(信託不動産については、減価償却後の帳簿価額)によっています。また、百万円未満を切捨てて記載しています。

(注2) 「対総資産比率」は、資産総額に対する当該資産の貸借対照表計上額の比率をいい、小数第2位を四捨五入して記載しています。そのため各比率の合計が小計欄又は合計欄の記載と一致しない場合があります。

(注3) 「信託不動産」には、信託建設仮勘定を含めていません。

(注4) 「都心6区」とは、千代田区、中央区、港区、新宿区、渋谷区及び品川区をいいます。

(注5) 「三大都市圏」とは、東京経済圏、大阪経済圏及び名古屋経済圏をいいます。「東京経済圏」とは、東京都、神奈川県、千葉県及び埼玉県をいい、「大阪経済圏」とは、大阪府、京都府及び兵庫県をいい、「名古屋経済圏」とは、愛知県、岐阜県及び三重県をいいます。

(注6) 「政令指定都市等」とは、三大都市圏以外に所在する、政令指定都市(札幌市、仙台市、新潟市、静岡市、浜松市、岡山市、広島市、福岡市、北九州市及び熊本市)及び県庁所在地である都市をいいます。

(注7) 投資有価証券は、前期は、合同会社ニコラスキャピタル6、合同会社ニコラスキャピタル9及び合同会社ニコラスキャピタル8をそれぞれ営業者とする匿名組合出資持分であり、当期は、合同会社ニコラスキャピタル6、合同会社ニコラスキャピタル9、合同会社ニコラスキャピタル8及び合同会社ニコラスキャピタル10をそれぞれ営業者とする匿名組合出資持分です。

## (2) 投資資産

## ①投資有価証券の主要銘柄

(2017年6月30日現在)

資産の種類	銘柄名	数量 (口)	帳簿価額 (百万円) (注1)	評価額 (百万円) (注1) (注2)	対総資産比率 (%) (注3)	備考
匿名組合出資持分	合同会社ニコラスキャピタル6 匿名組合出資持分	—	227	227	0.1	(注4)
匿名組合出資持分	合同会社ニコラスキャピタル9 匿名組合出資持分	—	97	97	0.0	(注5)
匿名組合出資持分	合同会社ニコラスキャピタル8 匿名組合出資持分	—	518	518	0.2	(注6)
匿名組合出資持分	合同会社ニコラスキャピタル10 劣後匿名組合出資持分	—	52	52	0.0	(注7)
合計		—	895	895	0.4	

(注1) 「帳簿価額」及び「評価額」は百万円未満を切捨てて記載しています。

(注2) 「評価額」は、帳簿価額を記載しています。

(注3) 「対総資産比率」は、資産総額に対する当該資産の貸借対照表計上額の比率をいい、小数第2位を四捨五入して記載しています。

(注4) 運用資産は、「ホームットホライズンビル」、「スブランディッド難波」及び「三宮ファーストビル」の各不動産信託受益権です。

(注5) 運用資産は、「友泉東日本橋駅前ビル」、「レジデンス江戸川橋」及び「ゼフェロス南堀江」の各不動産信託受益権です。

(注6) 運用資産は、「広尾ONビル」、「アルテビル肥後橋」、「SC堺筋本町ビル」及び「ダイヤビル名駅」の各不動産信託受益権です。

(注7) 運用資産は、「(仮称)レジデンス広尾」、「メルヴィ洗足」、「スブランディッド新大阪Ⅲ」、「シャルマンフジ大阪城南」及び「ピアチャーレ文の里」の各不動産信託受益権です。

## ②投資不動産物件

2017年6月30日現在、該当事項はありません。

## ③その他投資資産の主要なもの

## (イ) 保有信託不動産の概要

本投資法人の2017年6月30日現在における保有信託不動産の概要は、以下のとおりです。

番号	不動産等の名称	用途	所在地	総賃貸可能面積 (㎡) (注1)	取得価格 (百万円) (注2)	投資比率 (%) (注3)
A-1	FORECAST西新宿	オフィス	東京都新宿区	1,945.68	2,260	1.1
A-2	日本橋プラヤビル	オフィス	東京都中央区	2,490.08	2,130	1.0
A-3	FORECAST四谷	オフィス	東京都新宿区	1,678.15	1,430	0.7
A-4	FORECAST新宿AVENUE	オフィス	東京都新宿区	4,337.15	6,500	3.2
A-5	FORECAST市ヶ谷(注4)	オフィス	東京都新宿区	3,844.66	4,800	2.3
A-6	FORECAST三田	オフィス	東京都港区	1,786.18	1,800	0.9
A-7	FORECAST新宿SOUTH	オフィス	東京都新宿区	13,875.04	13,990	6.8
A-8	FORECAST桜橋	オフィス	東京都中央区	6,566.76	5,760	2.8
A-9	グリーンオーク茅場町	オフィス	東京都中央区	2,984.94	2,860	1.4
A-10	グリーンオーク九段	オフィス	東京都千代田区	2,594.46	2,780	1.4
A-11	グリーンオーク高輪台	オフィス	東京都港区	2,621.74	2,260	1.1
A-12	グリーンオーク御徒町	オフィス	東京都台東区	3,497.09	3,330	1.6
A-13	東池袋センタービル	オフィス	東京都豊島区	4,219.65	2,520	1.2
A-14	セントラル代官山	オフィス	東京都渋谷区	1,898.83	3,510	1.7
A-15	JSプログレビル	オフィス	東京都大田区	11,988.14	5,325	2.6
A-16	広尾リープレックス・ビズ	オフィス	東京都港区	1,500.85	2,827	1.4
A-17	芝公園三丁目ビル	オフィス	東京都港区	7,882.60	7,396	3.6
A-18	FORECAST飯田橋	オフィス	東京都千代田区	4,066.50	5,230	2.6
A-19	九段北325ビル	オフィス	東京都千代田区	2,007.07	1,850	0.9
A-20	FORECAST内神田	オフィス	東京都千代田区	1,230.44	1,240	0.6
A-21	イトーピア岩本町二丁目ビル	オフィス	東京都千代田区	3,447.16	2,810	1.4
A-22	イトーピア岩本町一丁目ビル	オフィス	東京都千代田区	3,056.56	2,640	1.3
A-23	イトーピア岩本町ANNEXビル	オフィス	東京都千代田区	3,064.20	2,100	1.0
A-24	ビジョンビル(注5)	オフィス	東京都中央区	3,022.25	2,837	1.4
A-25	FORECAST人形町	オフィス	東京都中央区	2,277.61	2,070	1.0
A-26	FORECAST人形町PLACE	オフィス	東京都中央区	1,867.95	1,650	0.8
A-27	FORECAST新常盤橋	オフィス	東京都中央区	1,799.53	2,030	1.0
A-28	西新宿三晃ビル	オフィス	東京都新宿区	2,479.80	2,207	1.1
A-29	飯田橋リープレックス・ビズ	オフィス	東京都新宿区	1,401.68	1,249	0.6
A-30	FORECAST品川	オフィス	東京都品川区	2,385.47	2,300	1.1
A-31	西五反田8丁目ビル	オフィス	東京都品川区	2,999.68	2,210	1.1
A-32	藤和東五反田ビル	オフィス	東京都品川区	2,939.16	2,033	1.0
A-33	FORECAST高田馬場	オフィス	東京都豊島区	5,614.35	5,550	2.7
A-34	目白NTビル	オフィス	東京都豊島区	4,497.27	3,094	1.5
A-35	東信東池袋ビル	オフィス	東京都豊島区	1,645.19	979	0.5
A-36	三井ウッディビル	オフィス	東京都江東区	4,006.20	2,475	1.2

番号	不動産等の名称	用途	所在地	総賃貸可能面積 (㎡) (注1)	取得価格 (百万円) (注2)	投資比率 (%) (注3)
A-37	板橋本町ビル	オフィス	東京都板橋区	6,356.89	3,146	1.5
A-38	ANTEX24ビル	オフィス	東京都台東区	2,267.59	1,691	0.8
A-39	イトーピア清洲橋通ビル	オフィス	東京都台東区	2,659.67	1,550	0.8
A-40	イーストサイドビル	オフィス	東京都台東区	2,096.92	1,372	0.7
A-41	I・S南森町ビル	オフィス	大阪府大阪市	4,164.82	2,258	1.1
A-42	サンワールドビル	オフィス	大阪府大阪市	3,314.58	1,200	0.6
A-43	丸の内三丁目ビル	オフィス	愛知県名古屋市	4,219.19	1,626	0.8
A-44	MK麴町ビル	オフィス	東京都千代田区	1,748.92	1,781	0.9
A-45	虎ノ門桜ビル	オフィス	東京都港区	3,049.79	4,120	2.0
A-46	ラ・ベリテAKASAKA	オフィス	東京都港区	1,707.18	2,000	1.0
A-47	神田オーシャンビル	オフィス	東京都千代田区	1,484.74	1,440	0.7
A-48	Shinto GINZA EAST	オフィス	東京都中央区	1,206.28	1,352	0.7
A-49	FORECAST茅場町(注5)	オフィス	東京都中央区	3,882.61	3,000	1.5
A-50	FORECAST早稲田FIRST	オフィス	東京都新宿区	4,340.66	4,775	2.3
A-51	FORECAST五反田WEST	オフィス	東京都品川区	8,981.55	6,520	3.2
A-52	大宮センタービル	オフィス	埼玉県さいたま市	14,311.77	15,585	7.6
A-53	三井住友銀行高麗橋ビル	オフィス	大阪府大阪市	5,102.55	2,850	1.4
A-54	NORE伏見	オフィス	愛知県名古屋市	3,857.58	2,840	1.4
A-55	NORE名駅	オフィス	愛知県名古屋市	4,296.12	2,520	1.2
B-1	タワーコート北品川	住宅	東京都品川区	16,913.29	11,880	5.8
B-2	スカイヒルズN11	住宅	北海道札幌市	8,567.50	1,570	0.8
B-3	マイアトリア名駅	住宅	愛知県名古屋市	2,890.78	1,280	0.6
B-4	マイアトリア栄	住宅	愛知県名古屋市	3,121.60	1,110	0.5
B-5	マックヴィラージュ平安	住宅	愛知県名古屋市	2,250.00	785	0.4
B-6	シーム・ドエル筒井	住宅	愛知県名古屋市	1,800.00	695	0.3
B-7	シエル薬院	住宅	福岡県福岡市	1,544.87	640	0.3
B-8	神田リープレックス・リズ	住宅	東京都千代田区	2,183.93	1,813	0.9
C-1	小滝橋パシフィカビル	商業施設	東京都新宿区	1,383.31	3,350	1.6
C-2	光明池アクト	商業施設	大阪府堺市	6,173.41	2,063	1.0
	合計			255,398.17	204,852	100.0

(注1) 「総賃貸可能面積」は、各信託不動産に係る建物の賃貸が可能な面積であり、賃貸借契約書又は建物図面等に基づき賃貸が可能と本投資法人が考えるものを記載しています。以下同じです。

(注2) 「取得価格」は、当該不動産等の取得に要した諸費用、固定資産税、都市計画税、消費税等を含んでいません。また、百万円未満を切捨てて記載しています。以下同じです。

(注3) 「投資比率」は、取得価格の合計に対する各物件の取得価格の比率をいい、小数第2位を四捨五入して記載しています。そのため各比率の合計は100%にならない場合があります。

(注4) 本物件の1階から7階までは、オフィス用物件として「FORECAST市ヶ谷」という名称が、8階から9階までは、住宅用物件として「Eponogu市ヶ谷」という名称がそれぞれ付されていますが、住宅部分も含め「FORECAST市ヶ谷」として記載しています。以下同じです。

(注5) 本投資法人は、以下のとおり物件名称を変更しました。以下同じです。

変更日	旧名称	新名称
2017年6月1日	久松町リープレックス・ビズ	ビジョンビル
2017年4月1日	ニューリバービルディング	FORECAST茅場町

## (ロ) 賃貸状況の概要

番号	不動産等の名称	総賃貸可能面積 (㎡)	総賃貸面積 (㎡) (注1)	稼働率 (%) (注2)	テナント 総数 (注3)	総賃料収入 (百万円) (注4)
A-1	FORECAST西新宿	1,945.68	1,945.68	100.0	17	154
A-2	日本橋プラヤビル	2,490.08	2,490.08	100.0	2	152
A-3	FORECAST四谷	1,678.15	1,678.15	100.0	13	100
A-4	FORECAST新宿AVENUE	4,337.15	4,337.15	100.0	6	384
A-5	FORECAST市ヶ谷	3,844.66	3,802.90	98.9	22	267
A-6	FORECAST三田	1,786.18	1,786.18	100.0	5	110
A-7	FORECAST新宿SOUTH	13,875.04	13,875.04	100.0	18	1,045
A-8	FORECAST桜橋	6,566.76	6,566.76	100.0	6	366
A-9	グリーンオーク茅場町	2,984.94	2,984.94	100.0	6	180
A-10	グリーンオーク九段	2,594.46	2,594.46	100.0	3	176
A-11	グリーンオーク高輪台	2,621.74	2,621.74	100.0	10	144
A-12	グリーンオーク御徒町	3,497.09	3,497.09	100.0	5	169
A-13	東池袋センタービル	4,219.65	4,219.65	100.0	5	199
A-14	セントラル代官山	1,898.83	1,898.83	100.0	4	162
A-15	JSプログレビル	11,988.14	11,988.14	100.0	9	376
A-16	広尾リープレックス・ビズ	1,500.85	1,500.85	100.0	8	151
A-17	芝公園三丁目ビル	7,882.60	7,882.60	100.0	4	413
A-18	FORECAST飯田橋	4,066.50	4,066.50	100.0	25	237
A-19	九段北325ビル	2,007.07	2,007.07	100.0	8	104
A-20	FORECAST内神田	1,230.44	1,230.44	100.0	5	70
A-21	イトーピア岩本町二丁目ビル	3,447.16	3,447.16	100.0	10	172
A-22	イトーピア岩本町一丁目ビル	3,056.56	3,056.56	100.0	9	154
A-23	イトーピア岩本町ANNEXビル	3,064.20	3,064.20	100.0	6	143
A-24	ビジョンビル	3,022.25	3,022.25	100.0	1	非開示(注5)
A-25	FORECAST人形町	2,277.61	2,277.61	100.0	7	105
A-26	FORECAST人形町PLACE	1,867.95	1,867.95	100.0	6	96
A-27	FORECAST新常盤橋	1,799.53	1,799.53	100.0	11	97
A-28	西新宿三晃ビル	2,479.80	2,479.80	100.0	8	126
A-29	飯田橋リープレックス・ビズ	1,401.68	1,401.68	100.0	6	70
A-30	FORECAST品川	2,385.47	2,385.47	100.0	6	117
A-31	西五反田8丁目ビル	2,999.68	2,999.68	100.0	8	132
A-32	藤和東五反田ビル	2,939.16	2,939.16	100.0	8	131
A-33	FORECAST高田馬場	5,614.35	5,614.35	100.0	7	306
A-34	目白NTビル	4,497.27	4,497.27	100.0	5	195
A-35	東信東池袋ビル	1,645.19	1,645.19	100.0	4	69
A-36	三井ウッディビル	4,006.20	4,006.20	100.0	6	161
A-37	板橋本町ビル	6,356.89	6,356.89	100.0	4	222
A-38	ANTEX24ビル	2,267.59	2,267.59	100.0	7	91
A-39	イトーピア清洲橋通ビル	2,659.67	2,659.67	100.0	8	113

番号	不動産等の名称	総賃貸可能面積 (㎡)	総賃貸面積 (㎡) (注1)	稼働率 (%) (注2)	テナント 総数 (注3)	総賃料収入 (百万円) (注4)
A-40	イーストサイドビル	2,096.92	2,096.92	100.0	4	92
A-41	I・S南森町ビル	4,164.82	4,164.82	100.0	16	166
A-42	サンワールドビル	3,314.58	3,314.58	100.0	1	非開示(注6)
A-43	丸の内三丁目ビル	4,219.19	4,219.19	100.0	22	122
A-44	MK麴町ビル	1,748.92	1,748.92	100.0	9	98
A-45	虎ノ門桜ビル	3,049.79	3,049.79	100.0	12	209
A-46	ラ・ベリテAKASAKA	1,707.18	1,707.18	100.0	6	111
A-47	神田オーシャンビル	1,484.74	1,484.74	100.0	24	87
A-48	Shinto GINZA EAST	1,206.28	1,206.28	100.0	6	72
A-49	FORECAST茅場町	3,882.61	3,882.61	100.0	14	158
A-50	FORECAST早稲田FIRST	4,340.66	4,340.66	100.0	8	244
A-51	FORECAST五反田WEST	8,981.55	8,981.55	100.0	13	419
A-52	大宮センタービル	14,311.77	14,311.77	100.0	27	911
A-53	三井住友銀行高麗橋ビル	5,102.55	5,102.55	100.0	23	189
A-54	NORE伏見	3,857.58	3,857.58	100.0	7	169
A-55	NORE名駅	4,296.12	4,069.45	94.7	19	164
B-1	タワーコート北品川	16,913.29	16,780.81	99.2	276	771
B-2	スカイヒルズN11	8,567.50	8,567.50	100.0	1	115
B-3	マイアトリア名駅	2,890.78	2,890.78	100.0	68	92
B-4	マイアトリア栄	3,121.60	3,121.60	100.0	1	73
B-5	マックヴィラージュ平安	2,250.00	2,250.00	100.0	1	53
B-6	シーム・ドエル筒井	1,800.00	1,800.00	100.0	1	49
B-7	シエル薬院	1,544.87	1,403.32	90.8	38	40
B-8	神田リープレックス・リズ	2,183.93	2,138.11	97.9	40	103
C-1	小滝橋パシフィカビル	1,383.31	1,383.31	100.0	8	169
C-2	光明池アクト	6,173.41	6,173.41	100.0	25	182
	合計	255,398.17	254,809.89	99.8	978	12,587

(注1) 「総賃貸面積」は、2017年6月30日現在における各信託不動産に係る各賃貸借契約書に表示された賃貸面積の合計を記載しています。ただし、マスターリース会社が賃貸人等との間でエンドテナントからの賃料等を原則としてそのまま受け取るパス・スルー型マスターリースによる賃貸借契約を締結している場合、2017年6月30日現在における各信託不動産に係る各賃貸借契約に表示されたエンドテナントの賃貸面積の合計を記載しています。

(注2) 「稼働率」は、2017年6月30日現在における総賃貸面積を総賃貸可能面積で除して得られた数値であり、小数第2位を四捨五入して記載しています。

(注3) 「テナント総数」は、2017年6月30日現在における各信託不動産に係る各賃貸借契約に表示された建物毎の賃貸借契約上のテナント数(倉庫、看板、駐車場等は含みません。)の合計を記載しています。なお、当該資産につきパス・スルー型のマスターリース契約が締結されている場合には、エンドテナントの総数(倉庫、看板、駐車場等は含みません。)を記載していますが、マスターリースの種別がパス・スルーであるものの、マスターリース会社より一括転賃を受けている転賃人がプロパティ・マネジメント業務を受託しており、かつ、マスターリース会社に固定賃料を支払うこととされている場合、テナント総数は1と記載しています。

(注4) 「総賃料収入」は、2017年6月30日現在における当該資産に係る各賃貸借契約(同日現在で入居済みのものに限ります。)に表示された建物につき、月間賃料(共益費を含みますが、倉庫、看板、駐車場等の使用料は含まず、フリーレントは考慮しないものとします。)を12倍することにより年換算して算出した金額(複数の賃貸借契約が締結されている資産については、その合計額)(消費税は含みません。)につき百万円未満を切捨てて記載しています。そのため、各物件に係る数値を合計しても、必ずしも合計欄に記載の数値と一致しません。なお、当該資産につきパス・スルー型マスターリース契約が締結されている場合には、エンドテナントとの間で締結されている賃貸借契約上の月間賃料(共益費を含みますが、倉庫、看板、駐車場等の使用料は含まず、フリーレントは考慮しないものとします。)(消費税は含みません。)を12倍することにより年換算して算出した金額を記載しています。

(注5) エンドテナントより承諾が得られていないことから非開示としています。

(注6) 転賃人であるテナントより承諾が得られていないことから非開示としています。

## (ハ) 期末算定価額の概要 (2017年6月30日現在)

番号	不動産等の名称	取得価格 (百万円)	帳簿価額 (百万円) (注2)	期末 算定価額 (百万円) (注3)	直接還元法		DCF法		
					価格 (百万円)	還元 利回り	価格 (百万円)	割引率	最終還元 利回り
A-1	FORECAST西新宿	2,260	2,186	2,890	2,930	4.2%	2,850	3.8%	4.4%
A-2	日本橋プラヤビル	2,130	2,062	2,370	2,390	4.5%	2,350	4.3%	4.7%
A-3	FORECAST四谷	1,430	1,395	1,810	1,840	4.1%	1,780	3.9%	4.3%
A-4	FORECAST新宿AVENUE	6,500	6,343	7,530	7,560	3.9%	7,500	3.6%	4.0%
A-5	FORECAST市ヶ谷	4,800	4,665	5,690	5,790	3.8%	5,590	3.6%	4.0%
A-6	FORECAST三田	1,800	1,765	2,190	2,220	4.0%	2,150	3.8%	4.2%
A-7	FORECAST新宿SOUTH	13,990	14,494	16,300	16,400	3.8%	16,100	3.5%	4.0%
A-8	FORECAST桜橋	5,760	6,026	6,190	6,300	4.3%	6,080	4.1%	4.5%
A-9	グリーンオーク茅場町	2,860	2,976	3,200	3,240	4.2%	3,150	4.0%	4.4%
A-10	グリーンオーク九段	2,780	2,875	3,180	3,220	4.0%	3,130	3.8%	4.2%
A-11	グリーンオーク高輪台	2,260	2,250	2,500	2,530	4.3%	2,460	4.1%	4.5%
A-12	グリーンオーク御徒町	3,330	3,454	3,010	3,020	4.6%	2,990	4.3%	4.7%
A-13	東池袋センタービル	2,520	2,712	2,760	2,780	4.7%	2,740	4.5%	4.9%
A-14	セントラル代官山	3,510	3,651	3,590	3,660	3.8%	3,520	3.6%	4.0%
A-15	JSプログレビル	5,325	5,413	5,250	5,300	5.0%	5,200	4.8%	5.2%
A-16	広尾リープレックス・ビズ	2,827	2,861	3,110	3,150	4.2%	3,060	4.0%	4.4%
A-17	芝公園三丁目ビル	7,396	7,438	9,630	9,980	3.7%	9,480	3.5%	3.9%
A-18	FORECAST飯田橋	5,230	5,414	5,490	5,530	4.0%	5,450	3.7%	4.1%
A-19	九段北325ビル	1,850	1,935	1,960	1,970	4.1%	1,950	3.8%	4.2%
A-20	FORECAST内神田	1,240	1,296	1,270	1,280	4.2%	1,250	4.0%	4.4%
A-21	イトーピア岩本町二丁目ビル	2,810	2,833	3,000	3,040	4.3%	2,960	4.1%	4.5%
A-22	イトーピア岩本町一丁目ビル	2,640	2,686	2,700	2,740	4.3%	2,660	4.1%	4.5%
A-23	イトーピア岩本町ANNEXビル	2,100	2,117	2,340	2,370	4.3%	2,310	4.1%	4.5%
A-24	ビジョンビル	2,837	2,877	2,920	2,960	4.3%	2,880	4.1%	4.5%
A-25	FORECAST人形町	2,070	2,154	2,070	2,110	4.4%	2,020	4.2%	4.6%
A-26	FORECAST人形町PLACE	1,650	1,662	1,760	1,790	4.4%	1,730	4.2%	4.6%
A-27	FORECAST新常盤橋	2,030	2,120	2,060	2,080	4.4%	2,040	4.1%	4.5%
A-28	西新宿三晃ビル	2,207	2,238	2,270	2,310	4.4%	2,230	4.2%	4.6%
A-29	飯田橋リープレックス・ビズ	1,249	1,295	1,390	1,410	3.9%	1,360	3.7%	4.1%
A-30	FORECAST品川	2,300	2,398	2,300	2,340	4.3%	2,260	4.1%	4.5%
A-31	西五反田8丁目ビル	2,210	2,305	2,360	2,380	4.3%	2,330	4.1%	4.5%
A-32	藤和東五反田ビル	2,033	2,064	2,140	2,160	4.3%	2,110	4.1%	4.5%
A-33	FORECAST高田馬場	5,550	5,790	5,580	5,670	4.6%	5,490	4.4%	4.8%
A-34	目白NTビル	3,094	3,109	3,300	3,340	4.7%	3,260	4.5%	4.9%
A-35	東信東池袋ビル	979	992	1,050	1,060	4.8%	1,040	4.6%	5.0%
A-36	三井ウッディビル	2,475	2,545	2,680	2,690	4.8%	2,660	4.5%	4.9%
A-37	板橋本町ビル	3,146	3,155	3,320	3,350	4.9%	3,290	4.6%	5.1%
A-38	ANTEX24ビル	1,691	1,791	1,730	1,750	4.7%	1,710	4.4%	4.8%

番号	不動産等の名称	取得価格 (百万円)	帳簿価額 (百万円) (注2)	期末 算定価額 (百万円) (注3)	直接還元法		DCF法		
					価格 (百万円)	還元 利回り	価格 (百万円)	割引率	最終還元 利回り
A-39	イトーピア清洲橋通ビル	1,550	1,602	1,770	1,780	4.8%	1,750	4.5%	5.0%
A-40	イーストサイドビル	1,372	1,384	1,470	1,490	4.8%	1,450	4.6%	5.0%
A-41	I・S南森町ビル	2,258	2,287	2,460	2,470	4.7%	2,440	4.5%	4.9%
A-42	サンワールドビル	1,200	1,255	1,230	1,240	5.0%	1,220	4.8%	5.2%
A-43	丸の内三丁目ビル	1,626	1,627	1,860	1,880	4.9%	1,840	4.7%	5.1%
A-44	MK麴町ビル	1,781	1,811	1,960	1,970	3.9%	1,940	3.6%	4.0%
A-45	虎ノ門桜ビル	4,120	4,306	4,280	4,310	3.7%	4,250	3.4%	3.8%
A-46	ラ・ベリテAKASAKA	2,000	2,101	2,130	2,160	3.9%	2,090	3.7%	4.1%
A-47	神田オーシャンビル	1,440	1,467	1,560	1,580	4.1%	1,530	3.9%	4.3%
A-48	Shinto GINZA EAST	1,352	1,365	1,400	1,410	4.1%	1,390	3.8%	4.2%
A-49	FORECAST茅場町	3,000	3,125	2,970	2,990	4.4%	2,950	4.1%	4.5%
A-50	FORECAST早稲田FIRST	4,775	4,811	4,900	4,940	4.3%	4,860	4.0%	4.4%
A-51	FORECAST五反田WEST	6,520	6,773	6,870	7,010	4.0%	6,720	3.8%	4.2%
A-52	大宮センタービル	15,585	15,620	17,500	17,700	4.5%	17,200	4.3%	4.7%
A-53	三井住友銀行高麗橋ビル	2,850	2,903	2,920	2,940	4.6%	2,900	4.4%	4.8%
A-54	NORE伏見	2,840	2,804	3,090	3,130	4.6%	3,040	4.4%	4.8%
A-55	NORE名駅	2,520	2,490	2,860	2,900	4.7%	2,810	4.5%	4.9%
B-1	タワーコート北品川	11,880	11,079	13,600	13,800	4.3%	13,400	4.1%	4.5%
B-2	スカイヒルズN11	1,570	1,567	1,730	1,740	5.5%	1,720	5.3%	5.7%
B-3	マイアトリア名駅	1,280	1,273	1,490	1,500	4.8%	1,470	4.6%	5.0%
B-4	マイアトリア栄	1,110	1,091	1,210	1,220	5.0%	1,190	4.8%	5.2%
B-5	マックヴィラージュ平安	785	777	866	874	5.1%	857	4.9%	5.3%
B-6	シーム・ドエル筒井	695	707	769	777	5.0%	761	4.8%	5.2%
B-7	シエル薬院	640	646	707	715	4.7%	698	4.5%	4.9%
B-8	神田リープレックス・リズ	1,813	1,778	1,930	1,950	4.3%	1,910	4.0%	4.5%
C-1	小滝橋パシフィカビル	3,350	3,453	3,470	3,520	4.0%	3,410	3.8%	4.2%
C-2	光明池アクト	2,063	2,064	2,190	2,210	5.2%	2,170	5.0%	5.4%
	合計	204,852	207,540	224,082	226,846		221,086		

(注1) 上記記載の金額は、百万円未満を切捨てて記載しています。

(注2) 「帳簿価額」は、2017年6月30日現在の貸借対照表計上額（不動産及び信託不動産については、取得価格（取得に伴う付帯費用を含みます。）から、減価償却累計額を控除した金額）を記載しています。

(注3) 「期末算定価額」は、2017年6月30日を価格時点とする鑑定評価額を記載しています。なお、A-17及びA-51を除いた各物件については一般財団法人日本不動産研究所に、A-17については大和不動産鑑定株式会社に、A-51については森井総合鑑定株式会社に、それぞれ鑑定評価を委託しています。

## (二) 個別資産の損益状況

第10期(自 2017年1月1日 至 2017年6月30日)

(単位:千円)

物件番号	A-1	A-2	A-3	A-4	A-5	A-6
物件名称	FORECAST 西新宿	日本橋 プレイビル	FORECAST 四谷	FORECAST 新宿AVENUE	FORECAST 市ヶ谷	FORECAST 三田
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①貸貸事業収益	86,495	79,916	54,012	202,154	149,828	61,405
貸貸事業収入	77,683	76,892	49,683	184,244	136,629	55,061
その他貸貸事業収入	8,811	3,023	4,328	17,910	13,198	6,343
②貸貸事業費用	17,038	15,578	13,718	51,115	28,622	12,068
管理業務費	3,349	5,041	2,428	10,130	8,248	2,859
水道光熱費	6,270	4,729	2,523	12,174	7,832	3,786
損害保険料	57	61	42	124	117	44
修繕費	1,093	114	3,149	2,951	746	139
租税公課	2,354	5,253	4,751	17,615	9,866	4,696
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他貸貸事業費用	3,561	28	473	7,770	1,460	193
③貸貸NOI(①-②)	69,456	64,338	40,293	151,038	121,205	49,337
④減価償却費	13,411	13,000	6,062	28,121	35,884	7,555
⑤固定資産除却損	-	-	-	-	-	-
⑥貸貸事業損益(③-④-⑤)	56,045	51,338	34,231	122,916	85,321	41,781

(単位:千円)

物件番号	A-7	A-8	A-9	A-10	A-11	A-12
物件名称	FORECAST 新宿SOUTH	FORECAST 桜橋	グリーン オーク 茅場町	グリーン オーク 九段	グリーン オーク 高輪台	グリーン オーク 御徒町
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①貸貸事業収益	590,491	202,811	91,734	87,550	77,056	91,492
貸貸事業収入	533,707	188,144	82,331	80,304	67,932	77,784
その他貸貸事業収入	56,783	14,667	9,402	7,245	9,123	13,708
②貸貸事業費用	197,862	43,556	25,803	22,737	19,041	23,012
管理業務費	37,222	15,870	5,885	5,265	3,584	4,870
水道光熱費	39,159	12,419	6,780	5,650	5,524	8,981
損害保険料	438	197	89	80	74	96
修繕費	2,153	2,255	892	2,935	1,174	1,356
租税公課	15,736	9,798	7,691	8,223	7,072	7,112
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他貸貸事業費用	102,802	2,665	4,113	231	1,261	245
③貸貸NOI(①-②)	392,629	159,255	65,931	64,812	58,015	68,480
④減価償却費	26,336	11,153	6,860	4,621	15,973	6,622
⑤固定資産除却損	-	-	-	-	-	-
⑥貸貸事業損益(③-④-⑤)	366,293	148,101	59,071	60,191	42,041	61,858

(単位：千円)

物件番号	A-13	A-14	A-15	A-16	A-17	A-18
物件名称	東池袋 センタービル	セントラル 代官山	JSプログラ ビル	広尾リープレ ックス・ビズ	芝公園三丁目 ビル	FORECAST 飯田橋
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	110,080	86,291	190,789	83,513	220,409	118,354
賃貸事業収入	105,370	79,256	164,412	75,024	205,804	108,806
その他賃貸事業収入	4,710	7,035	26,376	8,488	14,605	9,548
②賃貸事業費用	26,014	13,707	82,571	13,040	41,524	21,822
管理業務費	8,520	3,307	21,516	3,367	9,247	6,239
水道光熱費	6,472	3,910	24,265	3,270	12,066	6,289
損害保険料	135	50	372	39	171	113
修繕費	1,292	535	3,477	952	1,656	1,431
租税公課	8,452	5,554	31,236	4,728	16,843	6,445
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他賃貸事業費用	791	—	1,353	332	1,189	952
③賃貸NOI (①-②)	84,066	72,584	108,217	70,472	178,885	96,531
④減価償却費	12,357	3,700	29,154	2,864	14,189	9,691
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	71,709	68,884	79,062	67,608	164,695	86,839

(単位：千円)

物件番号	A-19	A-20	A-21	A-22	A-23	A-24
物件名称	九段北325 ビル	FORECAST 内神田	イトーピア 岩本町 二丁目ビル	イトーピア 岩本町 一丁目ビル	イトーピア 岩本町 ANNEXビル	ビジョンビル
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	60,207	40,944	90,246	81,402	73,763	非開示 (注)
賃貸事業収入	51,731	38,546	85,506	78,578	70,270	
その他賃貸事業収入	8,475	2,398	4,739	2,824	3,493	
②賃貸事業費用	17,392	9,073	24,264	19,368	18,630	
管理業務費	5,904	2,660	7,357	6,669	6,553	
水道光熱費	3,513	2,284	6,718	4,267	5,774	
損害保険料	46	45	98	87	76	
修繕費	1,123	417	1,558	2,007	610	
租税公課	6,371	3,115	7,636	5,712	5,143	
信託報酬	350	350	350	350	350	
その他賃貸事業費用	84	200	545	274	121	
③賃貸NOI (①-②)	42,814	31,870	65,981	62,034	55,132	66,964
④減価償却費	2,282	3,399	6,591	7,286	4,419	6,854
⑤固定資産除却損	—	—	—	342	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	40,532	28,471	59,390	54,404	50,713	60,110

(注) エンドテナントより承諾が得られていないことから非開示としています。

(単位：千円)

物件番号	A-25	A-26	A-27	A-28	A-29	A-30
物件名称	FORECAST 人形町	FORECAST 人形町PLACE	FORECAST 新常盤橋	西新宿三晃 ビル	飯田橋 リープレック ス・ビズ	FORECAST 品川
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	60,300	54,636	46,734	69,576	44,045	64,421
賃貸事業収入	54,998	48,850	39,520	64,119	35,499	57,081
その他賃貸事業収入	5,301	5,785	7,213	5,456	8,545	7,339
②賃貸事業費用	17,678	14,053	14,355	17,484	13,471	18,500
管理業務費	4,399	3,293	2,540	4,070	2,777	4,903
水道光熱費	3,779	4,459	3,544	5,129	5,388	4,756
損害保険料	71	47	47	65	35	73
修繕費	2,330	387	2,815	399	2,219	2,268
租税公課	5,774	3,759	3,400	6,260	2,691	5,664
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他賃貸事業費用	973	1,756	1,656	1,209	9	484
③賃貸NOI (①-②)	42,621	40,582	32,378	52,091	30,573	45,921
④減価償却費	5,538	3,563	3,030	4,009	3,435	6,527
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	37,082	37,018	29,348	48,082	27,138	39,393

(単位：千円)

物件番号	A-31	A-32	A-33	A-34	A-35	A-36
物件名称	西五反田 8丁目ビル	藤和東五反田 ビル	FORECAST 高田馬場	目白NTビル	東信東池袋 ビル	三井ウッディ ビル
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	78,452	73,379	172,072	102,640	41,084	95,944
賃貸事業収入	64,574	66,426	155,264	91,724	35,891	85,972
その他賃貸事業収入	13,877	6,953	16,807	10,915	5,192	9,971
②賃貸事業費用	24,798	18,099	36,269	29,124	9,981	27,927
管理業務費	7,143	6,487	9,781	9,062	3,076	8,710
水道光熱費	6,813	4,647	13,379	6,796	2,843	8,166
損害保険料	81	87	164	123	44	117
修繕費	1,155	452	593	1,453	115	2,287
租税公課	7,315	5,657	11,863	7,753	2,366	7,418
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他賃貸事業費用	1,938	417	138	3,585	1,185	877
③賃貸NOI (①-②)	53,653	55,280	135,803	73,515	31,103	68,016
④減価償却費	4,789	6,517	13,308	9,791	3,258	6,539
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	48,864	48,762	122,494	63,724	27,845	61,477

(単位：千円)

物件番号	A-37	A-38	A-39	A-40	A-41	A-42
物件名称	板橋本町ビル	ANTEX24ビル	イトーピア 清洲橋通 ビル	イースト サイドビル	I・S南森町 ビル	サンワールド ビル
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	146,384	51,869	57,248	50,823	94,887	非開示 (注)
賃貸事業収入	118,421	44,813	52,240	46,170	86,460	
その他賃貸事業収入	27,963	7,055	5,008	4,652	8,426	
②賃貸事業費用	46,977	12,255	22,729	13,606	27,643	
管理業務費	19,060	3,773	6,284	3,777	6,153	
水道光熱費	14,783	3,819	4,905	2,837	8,431	
損害保険料	147	61	66	49	135	
修繕費	824	291	4,972	4,229	2,382	
租税公課	8,560	3,809	4,809	2,301	9,260	
信託報酬	350	350	350	350	350	
その他賃貸事業費用	3,252	150	1,340	60	930	
③賃貸NOI (①-②)	99,406	39,613	34,519	37,217	67,243	
④減価償却費	14,918	7,279	4,784	2,871	11,360	4,806
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	84,488	32,334	29,734	34,345	55,882	26,090

(注) 転借人であるテナントより承諾が得られていないことから非開示としています。

(単位：千円)

物件番号	A-43	A-44	A-45	A-46	A-47	A-48
物件名称	丸の内 三丁目ビル	MK麴町ビル	虎ノ門桜ビル	ラ・ベリテ AKASAKA	神田オーシャ ンビル	Shinto GINZA EAST
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	74,027	52,963	83,894	58,436	48,392	35,637
賃貸事業収入	68,421	49,218	79,784	55,009	43,678	34,315
その他賃貸事業収入	5,605	3,745	4,109	3,427	4,714	1,322
②賃貸事業費用	22,856	14,233	27,656	11,673	11,747	7,199
管理業務費	7,752	3,917	7,280	3,645	2,449	2,304
水道光熱費	5,903	2,775	5,335	2,495	3,792	1,552
損害保険料	110	44	91	44	43	29
修繕費	1,572	1,315	1,723	480	1,069	221
租税公課	5,500	5,664	8,407	4,619	3,254	2,741
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他賃貸事業費用	1,667	166	4,468	37	788	—
③賃貸NOI (①-②)	51,171	38,730	56,238	46,763	36,645	28,438
④減価償却費	8,553	2,336	6,873	1,972	2,982	2,812
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	42,617	36,393	49,364	44,791	33,663	25,625

(単位：千円)

物件番号	A-49	A-50	A-51	A-52	A-53	A-54
物件名称	FORECAST 茅場町	FORECAST 早稲田FIRST	FORECAST 五反田WEST	大宮センター ビル	三井住友銀行 高麗橋ビル	NORE伏見
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	84,404	119,849	227,906	509,372	124,416	105,452
賃貸事業収入	75,727	109,583	207,139	476,459	96,287	89,927
その他賃貸事業収入	8,677	10,266	20,766	32,912	28,129	15,525
②賃貸事業費用	25,861	34,162	71,764	89,891	47,450	26,948
管理業務費	7,326	9,298	20,833	34,885	11,689	7,213
水道光熱費	5,592	8,407	21,442	26,036	15,968	9,429
損害保険料	103	127	284	497	191	98
修繕費	1,614	606	350	719	1,804	2,383
租税公課	7,545	11,028	26,028	26,583	15,951	7,084
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他賃貸事業費用	3,328	4,345	2,475	819	1,495	388
③賃貸NOI (①-②)	58,543	85,686	156,142	419,480	76,966	78,503
④減価償却費	9,130	9,548	9,709	56,600	11,516	18,991
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	49,413	76,138	146,432	362,880	65,449	59,512

(単位：千円)

物件番号	A-55	B-1	B-2	B-3	B-4	B-5
物件名称	NORE名駅	タワーコート 北品川	スカイヒルズ N11	マイアトリア 名駅	マイアトリア 栄	マックヴィラ ージュ平安
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	181日
①賃貸事業収益	95,354	403,211	61,068	51,789	38,406	27,729
賃貸事業収入	82,139	393,275	61,056	48,511	38,395	27,663
その他賃貸事業収入	13,214	9,936	12	3,277	10	65
②賃貸事業費用	28,820	77,603	7,812	13,857	7,451	5,502
管理業務費	7,113	30,843	346	3,732	2,429	2,445
水道光熱費	7,642	4,281	—	662	466	404
損害保険料	107	409	117	64	58	43
修繕費	2,815	9,802	446	2,512	215	318
租税公課	8,998	19,426	6,550	3,368	2,581	1,939
信託報酬	350	350	350	350	350	350
その他賃貸事業費用	1,792	12,489	1	3,167	1,350	—
③賃貸NOI (①-②)	66,534	325,607	53,255	37,931	30,955	22,226
④減価償却費	16,964	73,459	16,901	14,482	14,095	9,296
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	—
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	49,569	252,147	36,354	23,449	16,859	12,929

(単位：千円)

物件番号	B-6	B-7	B-8	C-1	C-2	
物件名称	シーム・ドエル筒井	シエル薬院	神田 リープレックス・リズ	小滝橋 パシフィカビル	光明池 アクト	合計
運用日数	181日	181日	181日	181日	181日	
①賃貸事業収益	24,727	24,442	54,333	92,834	138,925	6,906,687
賃貸事業収入	24,726	23,209	52,308	84,980	107,355	6,278,141
その他賃貸事業収入	1	1,233	2,025	7,854	31,569	628,546
②賃貸事業費用	4,674	6,348	9,623	18,383	65,695	1,795,533
管理業務費	1,926	1,376	3,078	4,276	22,582	501,878
水道光熱費	—	657	—	7,971	30,411	465,569
損害保険料	33	29	51	42	187	7,058
修繕費	280	1,474	1,356	400	510	101,572
租税公課	1,600	1,208	2,493	5,260	8,895	500,143
信託報酬	350	350	350	350	350	22,750
その他賃貸事業費用	483	1,251	2,292	82	2,758	196,561
③賃貸NOI (①-②)	20,053	18,094	44,709	74,450	73,230	5,111,153
④減価償却費	7,029	6,194	8,377	10,711	21,228	734,495
⑤固定資産除却損	—	—	—	—	—	342
⑥賃貸事業損益 (③-④-⑤)	13,024	11,900	36,332	63,739	52,001	4,376,314